◇地元産業界との連携事業

『豊富町をフィールドとした持続可能な地域づくりの実践的教育』
担当者：上園昌武（経済学部教授）
共同研究者：西村宣彦（経済学部教授），浅妻裕（経済学部教授），佐藤大輔（経営学部教授），進藤将敏（経営学部准教授），安藤直哉（工学部准教授）
※豊富町との包括連携協定に基づく協働事業の一つとして実施。

１．　連携先
豊富町

２．　連携事業における地域の課題及び課題解決に向けて設定した目標
豊富町はかつて人口が１万人を超えていたが，現在は少子高齢化や人口減少が進む過疎地域であり，産業振興や定住促進，子育て支援や保育・教育が大きな課題となっている。
本事業は，学生が事前学習と現地調査によって，これらのリスクや課題を分析して問題の所在を明らかにし，解決していくための具体的方策，持続可能な地域づくりの方法を考察する洞察力や思考力などを養うことを目指す。

３．　事業の内容
本事業では，豊富町と連携しつつ，学生が事前学習を行い，調査テーマの検討と調査項目を作成し，本学内または現地では勉強会や現地調査を行う。引率教員は，現地調査の前に関係者と打ち合わせを行い，教育効果が高いプログラムを準備する。現地調査後，学生は報告書をとりまとめ，地域住民や調査協力者らを対象とした報告会を開催し，これにより，地域活性化や地域貢献にもつながることが期待される。